

# 2011茨城大会水戸森林 (3.5MHz)での私の判断と行動

2011年11月19日(土)  
於 茨城県水戸森林公園

安島 巧



公園内は土砂崩れ・倒壊場所・工事中の箇所あります。気をつけて通過ください。

2011年11月19日(土) 3.5MHz帯部門 < 第20回 ARDF 茨城競技大会 >

# 初めに

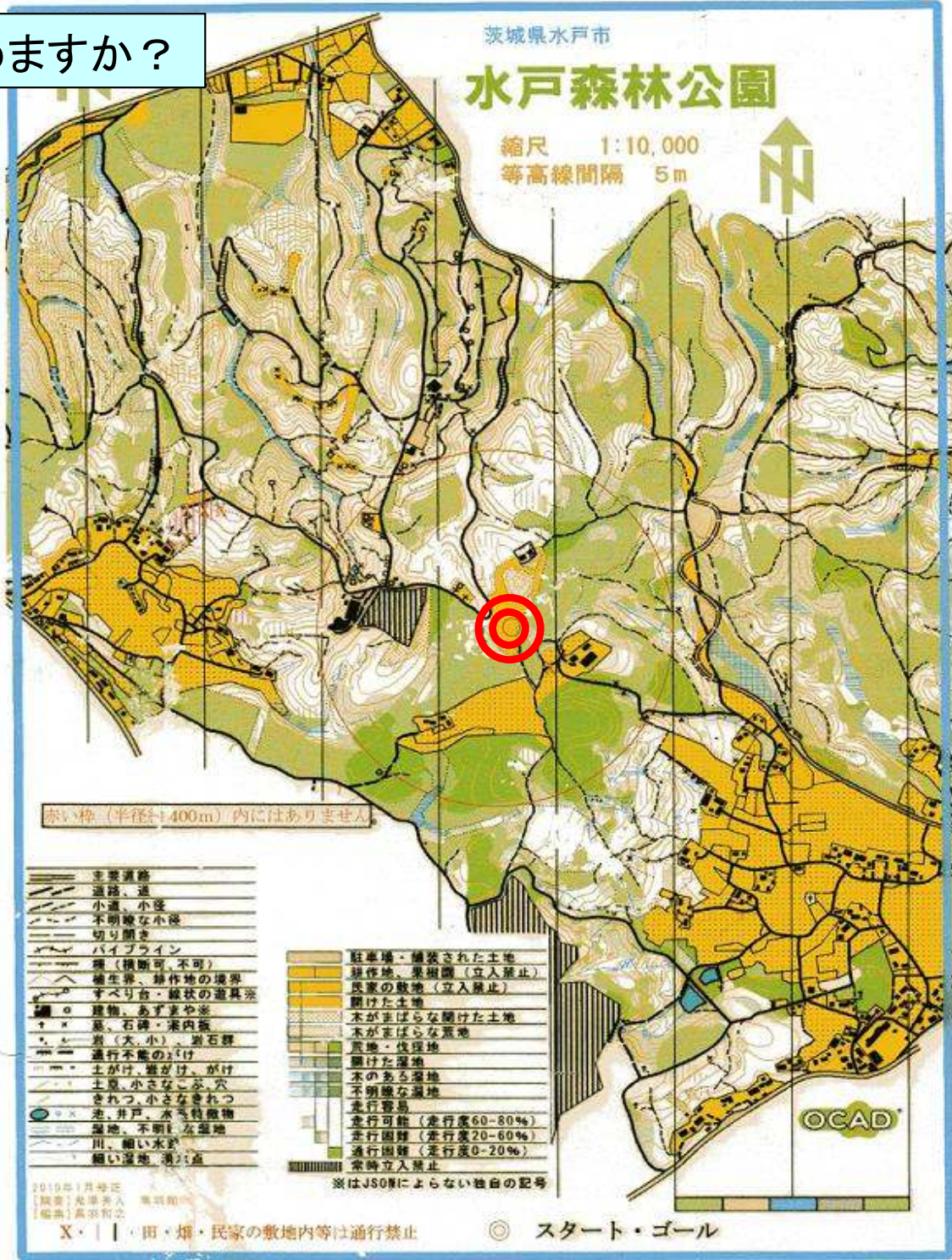
このドキュメントは、ARDF競技に参加したときに、私がどういう場面でどういう判断をしたかを記憶を頼りに記録したものです。

従って、「こうすべき」という正解を記載したものではありません。

ARDFに参加した一競技者の話として、主に初心者の皆さんの役に立てられればと思って作成いたしました。



あなたならどう攻めますか？

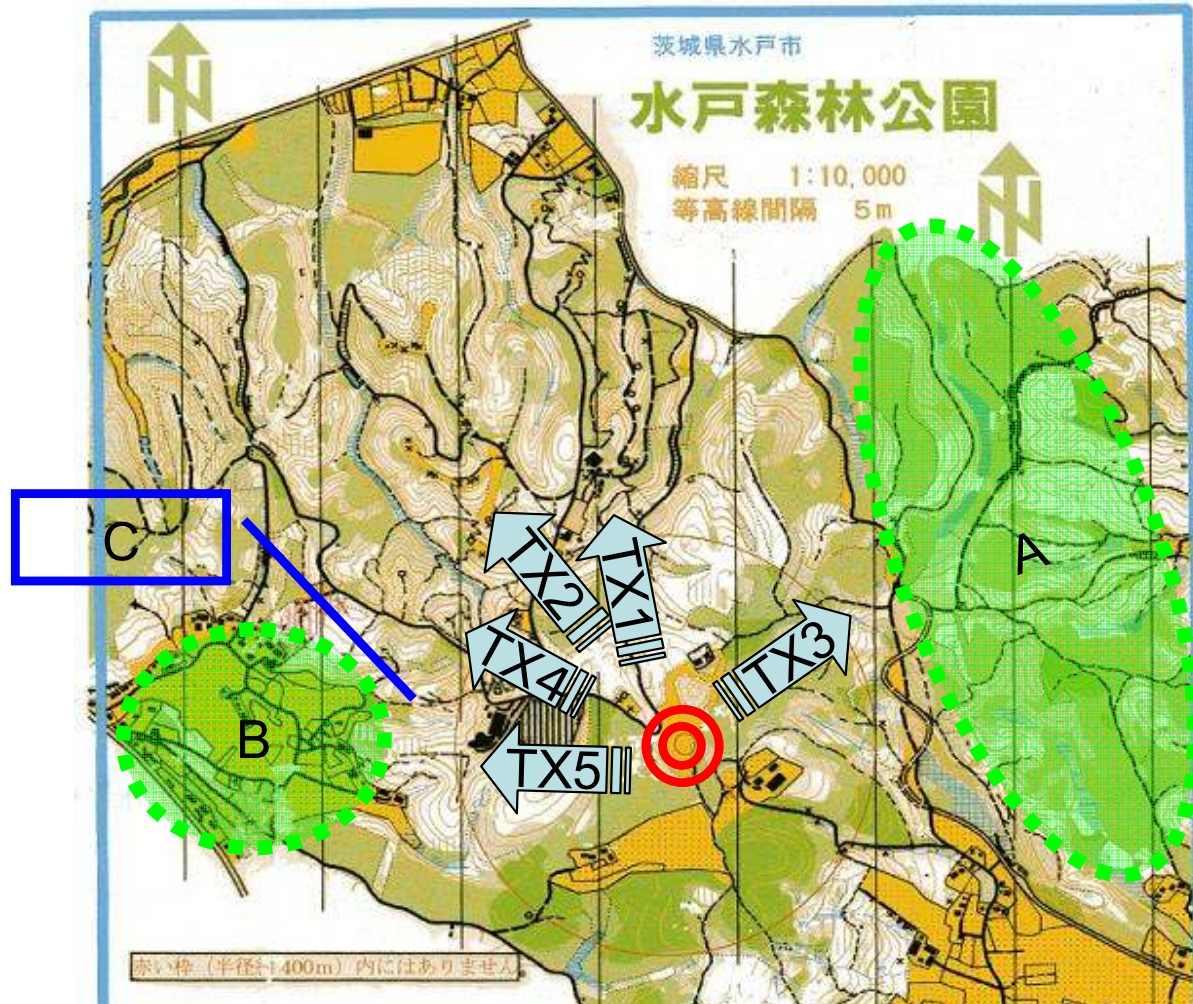


スタート円は  
半径約400mの  
ローカルルール

公園内は土砂崩れ・倒壊場所・工事中の箇所あります。気をつけて通過ください。

2011年11月19日(土) 3.5MHz帯部門 < 第20回 ARDF 茨城競技大会 >





### ①スタート前の地図読みと探索

生憎の雨、開会式にAエリアには無いとの示唆がある。また初の試みの一斉ラインスタート。しかも10分前から探査可能ときたもんだ。

TX3が東・Aエリア方向、TX1,2が北方向、TX4,5が西方向だ。TX3は一個だけ離れているので最後にし、すぐ下り方向にあるTX1,2の前に、比較的平坦路をいけるTX4,5方向に進むことにするが、TX5はBエリア方向なので、Cの道を降りていくことを考える。



## ②スタート

みな同じ事を考えるようで、高校生軍団を先頭に一齐にTX4,5方向へと走る。つられて自分も走るが、せいぜい150mであった。Cの道の入り口に来たが、道がはっきりしないし、だれもその方向へ行かない。実際にCの道が使えるかどうかの確証もない。天候も悪いので、あまり冒険もしたくないと考え道をそのまま進む。しばらくいくと高校生軍団が集団で戻ってくる。この分だとさほど遠くない距離にTXがあるということだ。

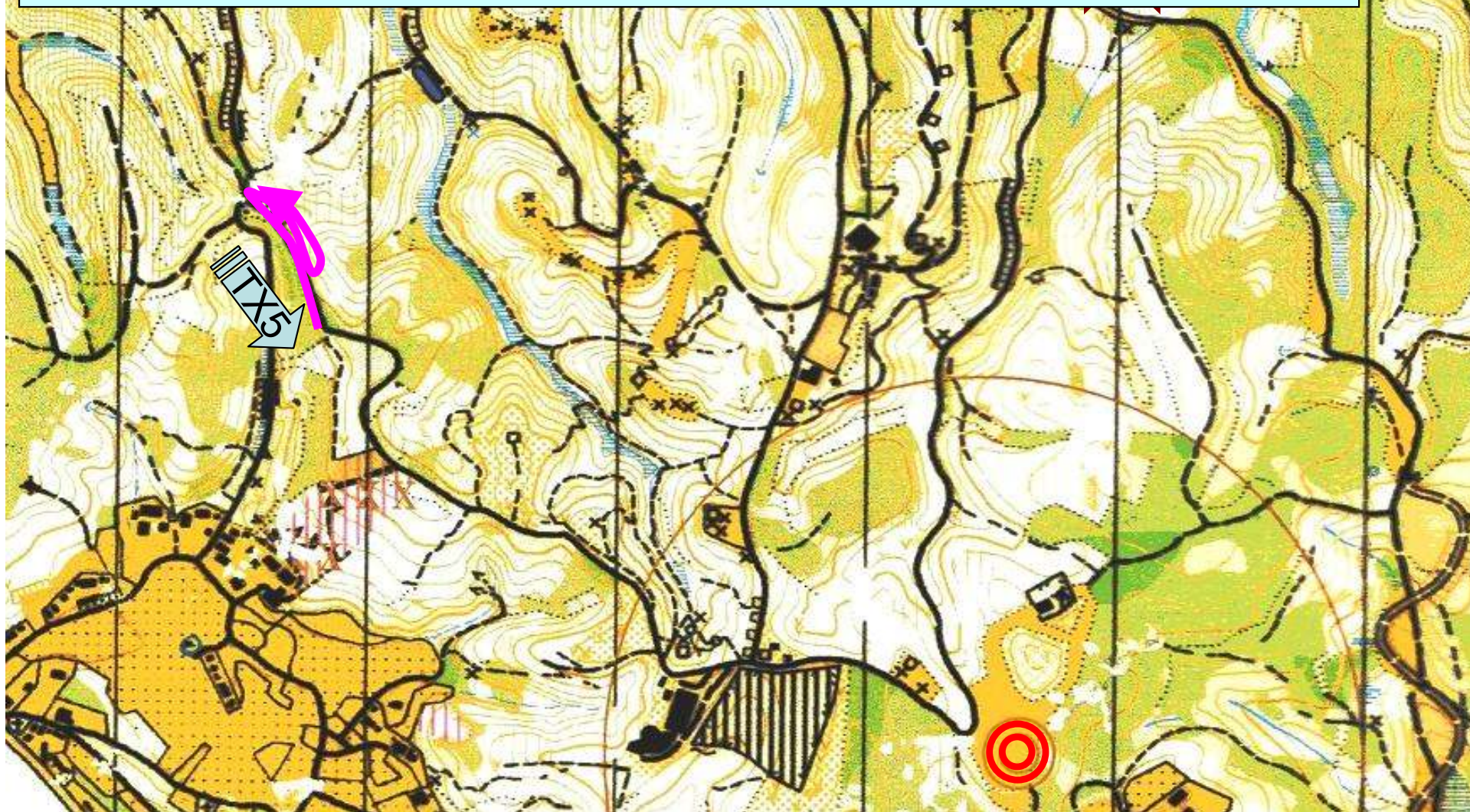




縮尺 1:10,000  
5m

### ③分岐

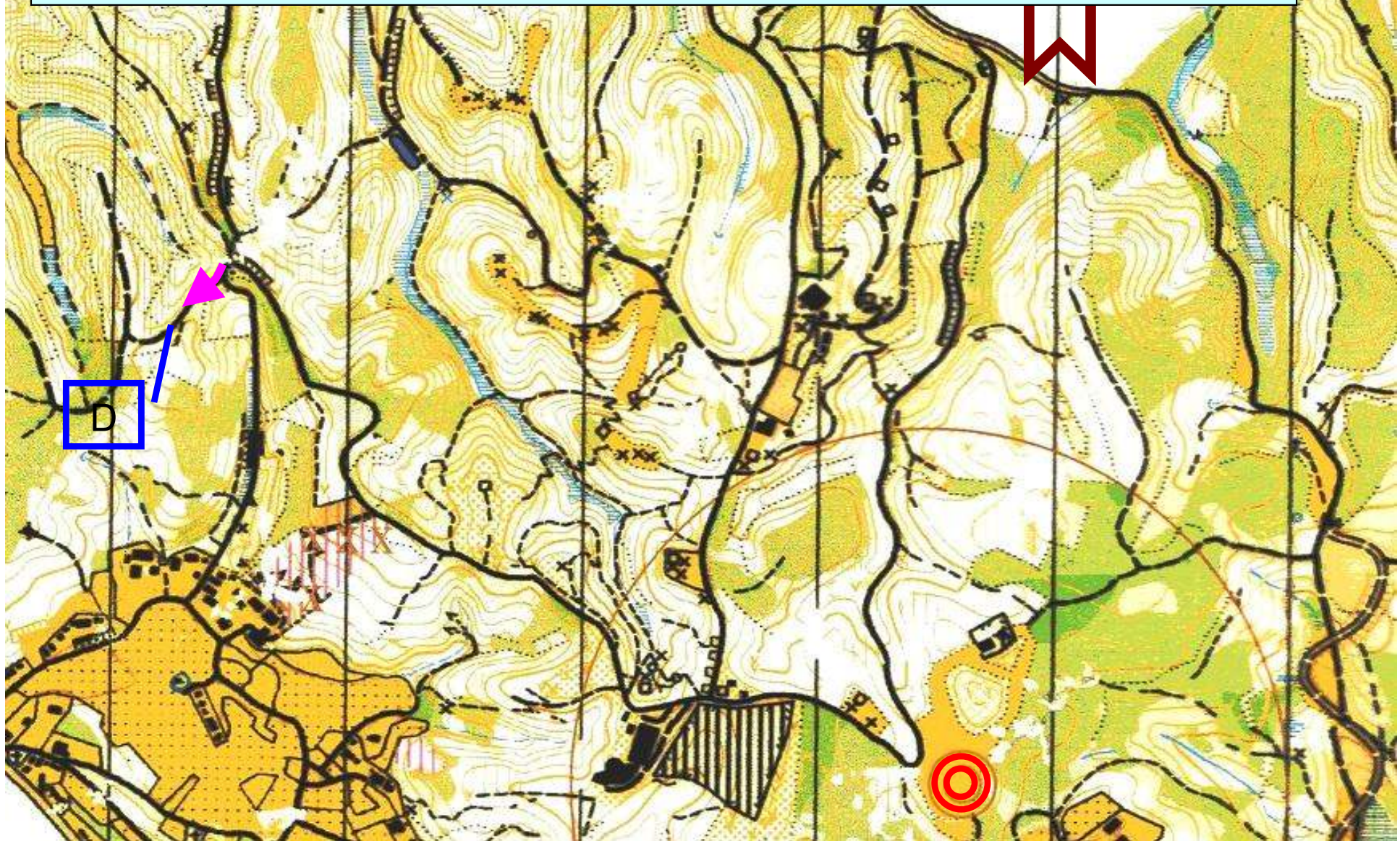
TX4も比較的近そうだ。分岐点にたくさんの人がうろうろしている。TX5が鳴く。えっ後ろ？あわててきた道に戻る。TX5が停波するが、どうやら近くではない。となると先ほどの高校生軍団とすれ違った時刻・場所の説明がつかない。先ほどの分岐に戻る。





#### ④分岐2

さきほどまであれだけうろうろしていた競技者がほとんどいなくなっている。やられた。Dの道から出てくる人たちがいる。確かにDの道は怪しい。少し入ってみる。

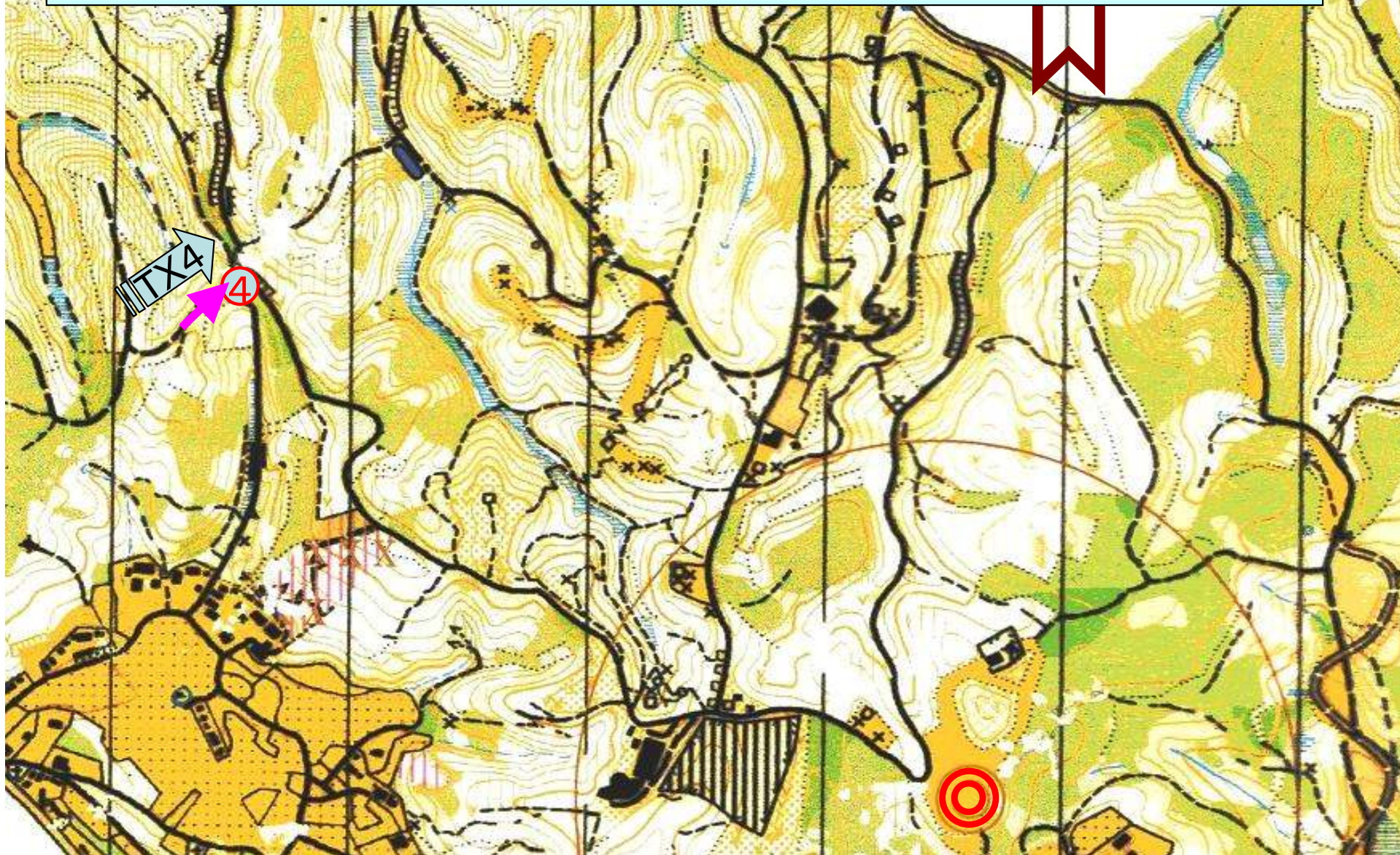




### ⑤TX4

TX4が鳴く。先ほどの分岐方向だ。あわてて戻る。正面の高台に不自然な複数人の影。登れる場所を探して登る。TX4ゲット。

高台は満員状態。しかし次々と登ってくるのでなかなか降りられない。



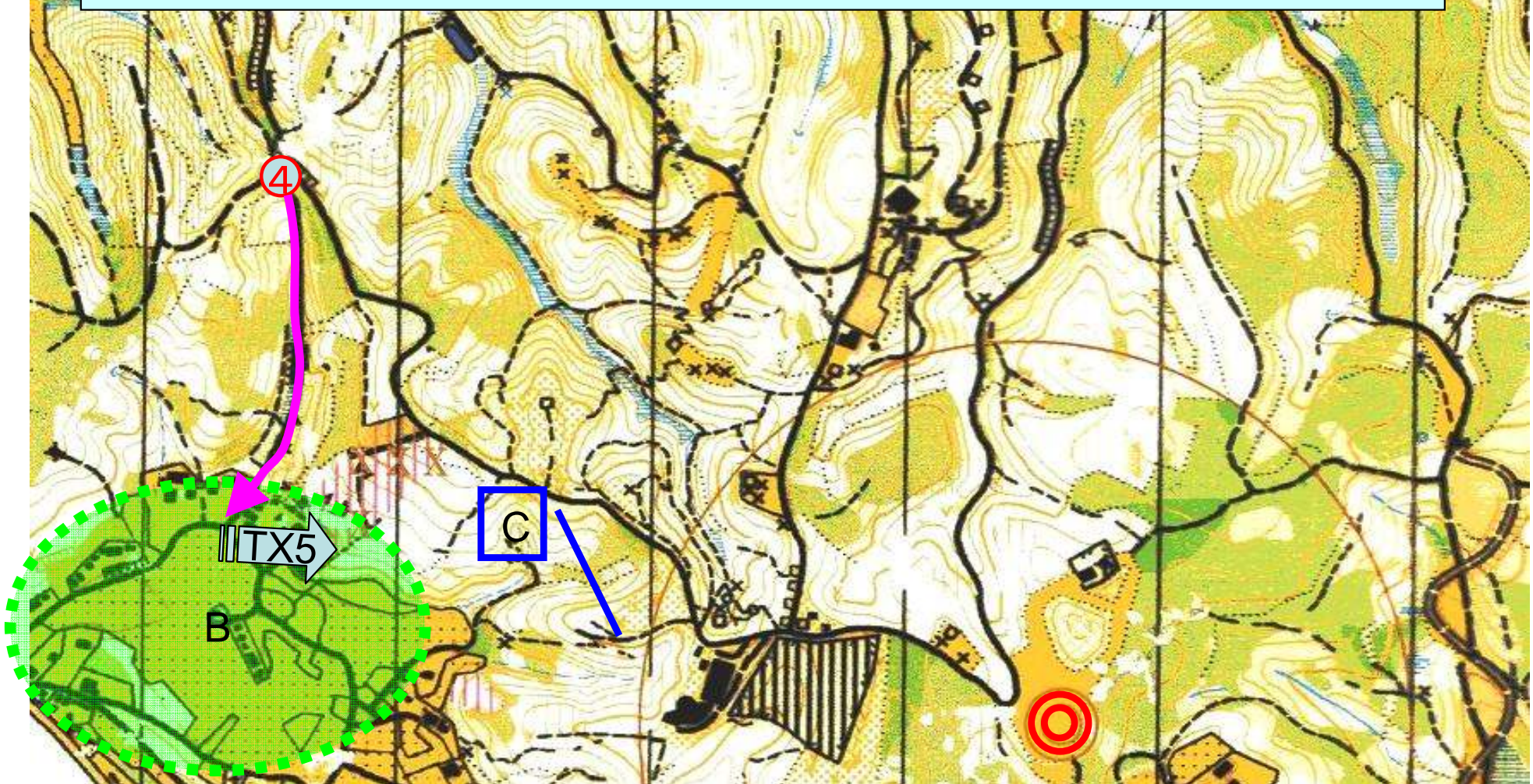


縮尺 1:10,000  
等高線間隔 5m

N

⑥Bエリアへ

いつのまにか忘れていたTX5に向かうため、Bエリアへと降りていく。TX5はやはりCの道方面だ。





縮尺 1:10,000  
等高線間隔 5m



⑦TX5

ぬかるみに難儀しながらCの道を登る。Hさんとすれ違う。TX5を探しているようだ。しかしおかしい。この先には無いということか？TX5が鳴く。山の上のほうだ。あわてて登ってTX5ゲット。

④

⑤



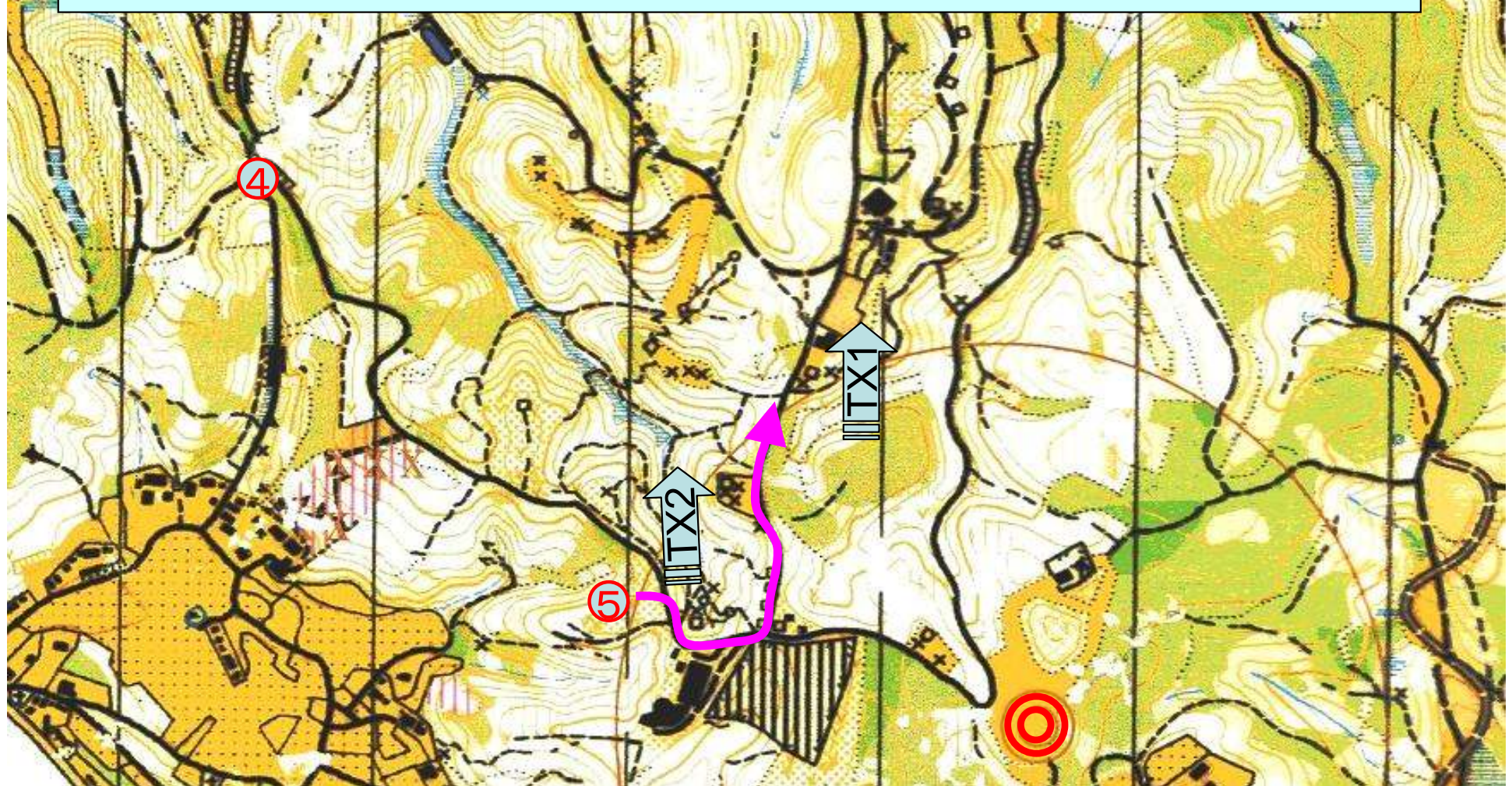


縮尺 1:10,000  
等高線間隔 5m

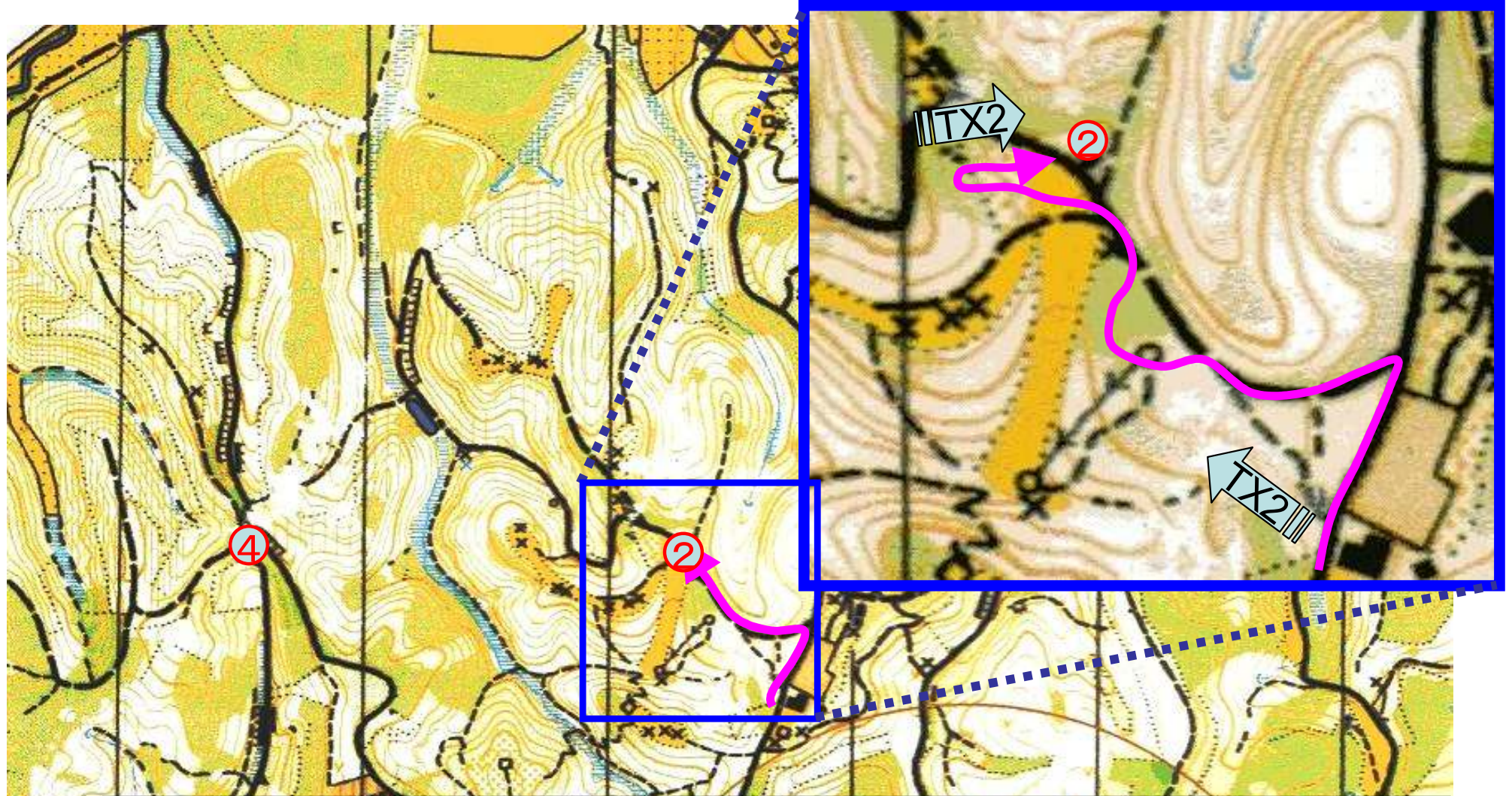
N

⑧道に出る。

高校生軍団のようにそのまま道に戻ってくれば容易にTX5を見つけられたに違いないと思いながら道にでる。TX2は恐竜公園のほうで、TX1はさらに先だ。







### ⑨TX2

恐竜公園の脇で自分には関係ないTX2がなく。やはり恐竜公園だ。スタートから30分強と今日は時間があるので、TX2を拾っていくことにした。植え込みなどを目視探索しながら広場の中央付近でTX2を待つ。TX2が鳴く。その方向へダッシュすると崖に来た。しまった逆だ。反対方向を見ると小屋がある。小屋の後ろに回り、TX2ゲット。



縮尺 1:10,000  
等高線間隔 5m



④

②

### ⑩東屋

TX1はどうやら東屋付近の様子。東屋広場周辺を目視探索している、Mさんも同様な探索をしている。TX1が鳴く。がけ下のほうだ。あわててジグザグの坂道を降りていく。比較的強いが方向が変わらない。少し先のようなのだ。





縮尺 1:10,000  
等高線間隔 5m



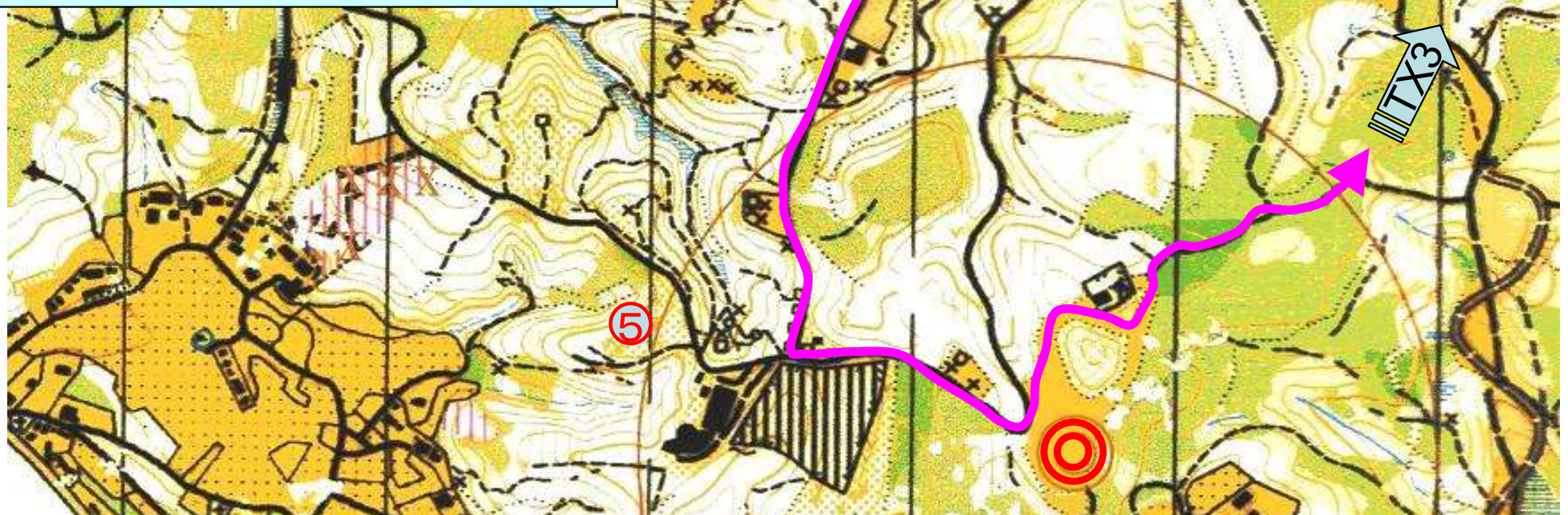
⑪東屋2  
もうひとつの東屋にたどり着く。別の競技者が東屋で一息ついているようだ。目視探索をしていると、「あった」という声。東屋の競技者が見ているほうを見るとブルーのアンテナが見える。TX1ゲット。





縮尺 1:10,000  
等高線間隔 5m

⑫ゴール地点へ戻る  
TX3へはゴール地点経由だ。既にゴールしたSさんが着替えながらこっちを見ているので手を振る。Aエリアへ向かう山道を降りる途中でTX3が鳴く。あわてて走ると次第に道の左のほうへ方向が変わる。少し森に入ってみるが進むのは困難そうであるので道に戻ることにする。





縮尺 1:10,000  
等高線間隔 5m

N

⑬TX3

TX3が鳴く。あわてて山道を折りきり、広い道に出る。方探方向に細い道が見えたところで停波。いかにも怪しい小路だ。そこへいくとたくさんの滑った跡。TX3ゲット。

④

②

③

⑤



TX3





縮尺 1:10,000  
等高線間隔 5m



⑭ゴール

ひたすらゴールへと向かう。ゴール。

①

②

④

③

⑤





# おわり

縮尺  
等高線





## 反省

TX5をゲットするのに山を降りてしまったのが失敗。また、TX4,5の区別をつけずにターゲットをあいまいにしてしまって無用な迷いを生じてしまったのもその原因のひとつ。

しかし、全体の設定が比較的近距离かつ上のほうであり、久しぶりに5つゲットできたので大満足。